

○ 調査問題

問題の学力のレベル
レベル6-B

1 次の問題に答えましょう。

(2) $9.62 \div 37$ を計算しましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の趣旨】

- 除数が整数である場合の小数の除法の計算をすることができる。

【問題の内容】

- 小数 \div 2 けたの数を計算する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 0.26 と解答	2 26 または 2.6 と解答	その他	無解答
解答率	64.4%	9.9%	22.0%	3.7%

- 小数の除法の計算を指導する際には、どこの位の計算をしているのか意識させることが大切である。解答類型2のように「26」または「2.6」と解答した児童の多くは「 $9.62 \div 37$ 」を整数の除法「 $962 \div 37$ 」と考えて計算できているが、商の大きさについて意識できていないと考えられる。このような児童には、商の大きさの見通しをもち、その見通しと計算結果を対応させて考え、求めた計算結果の妥当性を判断できるようにすることが大切である。
- その他では、0.26 までは答えが出せているが、「あまり」まで書いてしまっているものもあり、「あまり」の値も様々であった。その他は、統一性のない小数の解答がいろいろ出ている。

○ 指導上のポイント

児童に対話的な学びを行わせるための工夫として、誤答例を説明させる活動を取り入れる指導

ア	2 6	イ	2.6	ウ	0.2 6
3 7)	9.6 2	3 7)	9.6 2	3 7)	9.6 2
	7 4		7 4		7 4
	—		—		—
	2 2 2		2 2 2		2 2 2
	—		—		—
	2 2 2		2 2 2		2 2 2
	—		—		—
	0		0		0

誤答を取り上げることは、子どもの気持ちを聴くことから始まります。子どもの分かり方を捉え、その分かり方に応じて授業を展開することが、授業者として大切な姿勢です。



ア～ウのどれが正しいでしょうか。答えが違う人はなぜ間違えたか考えよう。

教師

なぜ違うのですか。考え方わかる人？

まずアとイは違います。



9÷40 と考えれば1よりも小さいと思います。



商の小数点は問題の小数点とそろえないといけないから違うと思います。



どうしてそう考えたか話し合ってみましょう。

きまりを活用し、計算を能率的にすることができるというよさに気付く指導

児童の学びを深めるため、整数の計算と比較し、小数と整数の関連を図る

$$9.62 \div 37 = \square$$

①×100 ②×100 ③÷100

$$962 \div 37 = 26$$



なぜ100をかけたのですか

962にすれば整数と同じように計算できるからです。



なぜ100でわったのですか

わられる数を10倍すれば商も10倍になるので、
わられる数を100倍すれば商も100倍になるからです。



$$8 \div 2 = 4$$

①×10 ②×10 ③÷10

$$80 \div 2 = 40$$



だから、商の小数点は問題の小数点とそろえるのですね。

○ 活用力育成シート、定着確認シート等の活用

(1) $78.2 \div 46$ (わりきれぬまで計算しましょう。)

(2) $57.6 \div 32$ (わりきれぬまで計算しましょう。)

(3) $68.4 \div 36$ (わりきれぬまで計算しましょう。)

【出典】

「定着確認シート」
H29 小学4年 第6回

「定着確認シート」
H28 小学4年 第6回

「定着確認シート」
H27 小学4年 第6回